



支部だより

東北支部

青森地区弘前地域の活動

はじめに

青森地区は、八戸工業大学と八戸工業高等専門学校のある八戸地域(南部地域)と、弘前大学のある弘前地域(津軽地域)の本会会員が中心となり、活動が行われています。本誌2011年8月号の本欄において、八戸地域の活動について報告されましたので、今回は、弘前大学で行われる弘前地域の活動についてご報告させていただきます。

「化学への招待」 ～弘前大学一日体験化学教室～

2011年3月11日の大地震の影響により、例年通りに開催できるか心配されました(本誌2011年6月号掲載の会告原稿にも、“停電等により開催の日時が変更される場合があります”との注意事項が記載されています)が、2011年8月5日に無事開催することができました。今回は、従来とは異なり、弘前大学大学院理工学研究所も主催に加わり、日本化学会東北支部との共同主催という形で、初めて行われました。そのため、資金的な面での援助が増えたというだけでなく、大学の事務職員の協力も得やすく、よりスムーズに運営ができたと思います。当日は、高校生を中心とした100名を超える参加者が集まり、以下に示すプログラムに従い、午前中は講演、午後にはA～Fに分かれて化学実験を体験しました(図1)。



図1 試薬を量り取る高校生の参加者

(午前)講演「有機物が燃えなくなったら?」

(午後)実験A)「果物のにおいを作る」「ルミノールを用いた発光反応」、B)「色で測る!!一ドリンク剤中の鉄の定量」、C)「高分子ゲルの不思議」、D)「色が変わる無機高分子」、E)「青森県の植物を利用した香料・化粧品の科学」、F)「コンピューターで分子を考えてみよう」

「青森地区講演会」～大学と地域の 交流を深める化学プラザ～

青森地区講演会は、普段大学や企業で行われている化学の研究や活動について広く知ってもらうとともに、大学と企業及び市民との交流を目的とし毎年10月に弘前大学で行われている行事の1つです。そのため、必ず企業と大学の両方から講演者をお招きして行います。また、2011年度は、東北支部長より許諾いただき、「国立大学フェスタ」の一環として行い、ポスター右上にロゴも入れさせていただきました(図2)。当日は、学



図2 青森地区講演会のポスター

生を中心に多くの方々に参加いただき、大変有意義な講演会となりました。

おわりに

青森地区弘前地域から選出される東北支部青森地区幹事は、2008年より、それまでの1年交代から、継続性を考慮して2年交代で弘前大学の化学系教員が担当することになりました。筆者は、2010年度から東北支部青森地区幹事を担当しておりますので、この3月をもって2年間の地区幹事の仕事を終えることとなります。この間、各種イベントに参加いただきました皆様、ご協力いただきました諸先生方に、この場を借りて心より感謝申し上げます。

〔2011年度東北支部青森地区幹事 川上 淳
(弘前大学大学院理工学研究所)〕

©2012 The Chemical Society of Japan